

障害者福祉活動事業サービス区分から支出	デジタル録音図書導入のための勉強会を再開しました。 【課題】デジタル録音図書の普及に伴うデイジー図書への移行の必要があります。また、常に利用者が聞きやすいテープの作成を心掛けることが大切です。 【今後の取組】継続して情報の提供を行います。また、再開したデジタル録音図書の勉強会の充実を図るとともに、対面朗読などにより利用者を知ることにより聞きやすいテープの作成に努めます。 【決算】事業活動収入 104,350 円 事業活動支出 86,350 円 施設整備等収入 1,029,000 円 施設整備等支出 1,029,000 円 当期資金収支差額 18,000 円
対面朗読交流会 障害児者福祉活動事業サービス区分から支出	【概要】録音サービスを利用されている視覚障がい者の方の外出の機会とテープ作成を行っているボランティアの方々との交流の機会として開催しました。 【実績】参加者 11名（利用者1名、ボランティア10名） 【成果】視覚障がい者の方や以前から朗読ボランティアを行っていた方との交流により、昨年度から協力をいただいている響高校生にとって、今後のテープ作成に役立つ交流となりました。 【課題】視覚障がい者への周知不足によりテープ利用者の参加が少ない状況でした。 【今後の取組】視覚に障がいがある方でも参加しやすい事業展開を検討し、実践していきます。 【決算】事業活動収入 443,700 円 事業活動支出 246,134 円 当期資金収支差額 197,566 円
点訳サービス事業 障害者福祉活動事業サービス区分から支出	【概要】市内のボランティアの協力を得て、依頼を受けた資料を点訳するサービスを行いました。 【実績】点訳依頼件数 2件 【成果】点字プリンターの寄贈をいただき、東日本大震災後中断していた点訳サービスを再開させることができました。 【課題】現在、市内に点訳ボランティアが1名しかおらず、安定したサービス提供が難しい状況にあります。 【今後の取組】今後とも継続して情報提供を行うとともに、点訳ボランティアの育成に努めます。 【決算】事業活動収入 104,350 円 事業活動支出 86,350 円 施設整備等収入 1,029,000 円 施設整備等支出 1,029,000 円 当期資金収支差額 18,000 円

○ 指定障害福祉サービス事業

気仙沼市 松峰園（指定就労移行支援事業及び指定就労継続B型事業サービス）

【概要】障害者総合支援法及び気仙沼市障害者通所施設条例並びに指定管理基本協定に基づき、気仙沼市に居住する知的障害のある方を対象に、指定就労移行支援事業及び指定就労継続B型事業サービスを適切に提供し、地域の障害者の自立支援を行う。

【事業実績】

月	就労移行在籍者数 就労継続籍者数	開所日数 開所日数	当月入所者数 当月入所者数	当月退所者数 当月退所者数	利用延人数 利用延人数	平均利用者数 平均利用者数
4	6 47	21 21	1 2	0 1	124 891	5.9 42.4
5	6 46	20 20	0 0	0 0	118 809	5.9 40.5
6	6 46	21 21	0 0	0 0	119 841	5.7 40.0
7	6 46	22 22	0 0	0 0	128 909	5.8 41.3
8	6 46	19 19	0 0	0 0	110 721	5.8 37.9
9	6 46	20 20	0 0	0 0	118 820	5.9 41.0
10	6 46	21 21	0 0	0 0	124 849	5.9 40.4
11	6 46	18 18	0 0	0 1	100 721	5.6 40.1
12	6 45	19 19	0 0	1 0	88 732	4.6 38.5
1	5 45	19 19	0 0	0 0	91 745	4.8 39.2
2	5 45	22 19	0 0	0 0	110 725	5.0 38.2
3	5 44	22 22	0 0	0 0	110 824	5.0 37.5
計	69 548	244 241	1 2	1 2	1,340 9,587	5.5 39.8

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成26年 5月23日	第1回 就労支援連絡会	気仙沼保健福祉事務所
6月28日	平成26年度講演会「発達障害の理解」	気仙沼市健康管理センター
7月11日	地域リハビリテーション従事者研修会	気仙沼市保健福祉センター
7月17日	就労支援連絡会	気仙沼保健福祉事務所
9月13日	「障害者就労支援に関するセミナー」	気仙沼市役所ワンテン庁舎
8月30日～31日	相談支援従事者初任者研修会	宮城県庁
9月21日～23日	相談支援従事者初任者研修会	宮城県庁
10月22日～24日	平成26年度第2期就労支援基礎研修	宮城県障害者福祉センター
11月16日	地域福祉フォーラムin気仙沼	気仙沼市健康管理センター
11月20日	就労支援連絡会	気仙沼保健福祉事務所
平成27年 1月22日	接遇コミュニケーション研修	気仙沼市健康管理センター
2月6日	就労支援セミナー	気仙沼保健福祉事務所
2月22日	地域福祉フォーラムin気仙沼	気仙沼市健康管理センター
3月19日	就労支援連絡会	気仙沼保健福祉事務所
3月20日	指定障害福祉サービス集団指導	宮城県庁

【成果】就労移行支援事業については就労支援員、職業指導員が新たな職場実習先を開拓し、関係機関との連携の下12月に利用者1名が一般就労に結びつきました。

【課題】

生産活動は昨年に比べ減収となっているが新しい派遣作業、委託作業等を取り入れ、収入を増やす努力を継続的に行う必要があります。

【今後の取組】新規職場実習先の開拓と企業の情報収集を積極的に行い、就労に繋がるよう支援していきます。

公共施設の清掃作業などの開拓を引続き行い収入の増加を図れるよう努力します。

【決算】事業活動による収入 82,134,560円 事業活動による支出 75,633,600円
 その他の活動収入 2,058,627円 その他の活動支出 8,561,504円
 当期資金収支差額 -1,917円
 （前期末支払資金残高から充当）

気仙沼市 松峰園（指定共同生活援助事業）

【概要】 障害者総合支援法に基づき、利用者の自立と社会経済活動への参加を促進するため、地域で共同して日常生活を円滑に営むことができるよう、利用者の心身の状況に応じて、日常生活の援助を適切に行った。

【事業実績】

月	在籍者数	開 所 日 数	当月入所者数	当月退所者数	利用延人数	平均利用者数
4	4	30	0	0	70	2.3
5	4	31	0	0	74	2.4
6	4	30	0	0	91	3.0
7	4	31	0	0	93	3.0
8	4	31	0	0	85	2.7
9	4	30	0	0	93	3.1
10	4	22	0	0	79	3.6
11	4	19	0	0	57	3.0
12	4	20	0	0	60	3.0
1	4	20	0	0	60	3.0
2	4	20	0	0	60	3.0
3	4	23	0	0	67	2.9
計	44	277	0	0	796	2.9

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成26年4月29日	買物支援	市内
5月5日、6日	昼食、買物支援	市内
5月27日	世話人研修	松峰園
6月21日	昼食、買物支援	市内
8月14日	昼食、買物支援	高田方面
9月11日	支援会議	松峰園
9月23日	昼食、買物支援	一関
10月3日	通院支援	岩沼
10月15日	通院支援（入院）	岩沼
10月25日	昼食、買物支援	市内
10月26日	余暇活動支援	市内
11月8日	昼食、買物支援	石巻
11月12日	通院支援	岩沼
11月25日	通院支援	岩沼
12月11日	通院支援	岩沼
12月22日	通院支援	岩沼
12月23日	昼食、買物支援	市内
平成27年1月7日	新年会	ホーム内
1月10日	昼食、買物支援	市内
1月28日	通院支援	岩沼
2月11日	昼食、買物支援	市内
2月24日	通院支援	岩沼
3月23日	通院支援	岩沼

【成果】 東日本大震災で休止中であったグループホームを4月から女子4名を対象に一箇所再開しました。利用家族からは将来の生活について安心したとの声が聞かれています。

震災等の影響で精神状態が不安定になった利用者の通院支援を行い、他関係機関との連携を図り支援を行った結果、本人の状態変化から施設入所となり諸手続きの支援を行いました。

【課題】 利用者の健康管理の面で通院支援等が頻繁になっています。支援を行う世話人を募集していますが応募がなく、バックアップ施設の職員が対応している状況にあります。

【今後の取組】 男子のグループホームをもう一箇所立ち上げようと物件を探している最中です。

【決算】 事業活動収入7,357,088円

事業活動支出 6,415,051円

施設整備等支出 1,197,300円

当期資金収支差額 -255,263円

（前期末支払資金残高から充当）

気仙沼市みのりの園（指定生活介護事業）

【概要】 障害があっても地域で安心して生活できる施設として、利用者の意思や個性を尊重し、家庭と連携を図りながら自立に向けたサービスの提供に努めました。

【事業実績】

月	在籍者数	開所日数	当月入所者数	当月退所者数	利用延人数	平均利用者数
4	27	21	2	0	499	23.8
5	27	20	0	0	477	23.9
6	27	21	0	0	498	23.7
7	27	23	0	0	538	23.4
8	28	20	1	0	461	23.1
9	28	20	0	0	483	24.2
10	28	22	0	0	518	23.5
11	28	18	0	0	447	24.8
12	29	21	1	0	528	25.1
1	29	19	0	0	467	24.6
2	29	19	0	0	473	24.9
3	29	22	0	0	528	24.0
合計		246	4	0	5,917	24.1
前年度		243	6	1	5,063	20.8

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成26年4月25日	みのりの園家族会総会	みのりの園
6月28日	障害特性と関わり方のポイント	気仙沼市民健康管理センター
7月11日	地域リハビリテーション従事者研修会	保健福祉センター燦さん館
7月21日	TEACCHプログラム研修会	みのりの園
8月29日	障害者福祉施設職員研修	宮城県管工事会館
9月9日	福祉サービスの苦情に関する研修会	仙台市アエル
1月22日	法人職員接遇・コミュニケーション研修会	気仙沼市民健康管理センター
平成27年2月23日	県虐待防止・権利擁護研修会	宮城県庁舎
3月20日	指定障害福祉サービス事業者等集団指導	宮城県庁舎

【成果】 本年5月より利用定員を30名に変更したことで利用者増に対応することができ、園庭活用による園芸活動や外出行事の実施など幅広いメニューで1年間活動しました。

また、家族会との連携を図り合同研修会を開催し、専門知識の取得向上に取り組みました。定員変更により基本報酬単価は減額となりましたが、新規利用者の増加と健康管理への取り組みにより出席率が改善されことで予算を超える実績となりました。

（平成26年度 障害福祉サービス等事業収入目標額達成度 116.1% 前年度 102.1%）

【課題】 利用定員の上限数に迫り、個々の障害特性に応じた必要な施設空間の確保が課題です。利用者状況は、最年少(19才)、最高齢(64才)、平均年齢40.2才となり、幅広い年齢年齢層へ適した選択的活動や高齢化に伴う体調管理の強化など、介護支援を視野に入れた細やかなサービス提供が求められています。

【今後の取組】 個々の障害特性に応じた適切な施設空間について将来像を描きながら検討します。利用者の高齢化に即した技術向上と活動支援に取り組むとともに、地域に望まれる施設活動へ参画しながら保護者や関係機関との連携を図り、経営視点をもち運営を行っていきます。

【決算】 事業活動収入	47,305,546円	事業活動支出	36,780,580円
		施設整備等支出	124,000円
		その他の活動支出	2,222,484円
		当期資金収支差額	8,178,282円

気仙沼市マザーズホーム（指定児童発達支援及び放課後等デイサービス）

【概要】児童福祉法および気仙沼市障害児通所支援施設条例並びに指定管理基本協定に基づき、気仙沼市及び南三陸町に居住する障害児及び保護者の方々を対象に、児童発達支援及び放課後等デイサービスを適切に提供し、日常生活の基本動作や集団生活への適応力の向上及び保護者の養護負担の軽減や精神的安定の向上に努めました。

【事業実績】

月	在籍者数		開所日数		当月入所者数		当月退所者数		利用延人数		平均利用者数	
	幼児	学童	幼児	学童	幼児	学童	幼児	学童	幼児	学童	幼児	学童
4	11	19	21	25	4	6	0	0	77	130	3.7	5.2
5	11	19	20	24	0	0	0	0	69	122	3.5	5.1
6	11	18	21	25	0	0	0	1	70	123	3.3	4.9
7	11	18	22	25	0	0	0	0	92	148	4.2	5.9
8	11	17	21	25	0	0	0	1	81	118	3.9	4.7
9	13	18	20	24	2	1	0	0	80	120	4.0	5.0
10	13	18	20	25	0	0	0	0	92	124	4.6	5.0
11	13	18	18	22	0	0	0	0	78	129	4.3	5.9
12	13	18	19	23	0	0	0	0	82	124	4.3	5.4
1	13	18	19	23	0	0	0	0	71	114	4.0	5.0
2	14	18	19	22	1	0	0	0	93	117	4.9	5.3
3	11	13	22	24	0	0	3	5	106	134	4.8	5.6
計			242	287	7	7	3	7	991	1,503	4.1	5.2
前年度			243	286	5	4	6	9	1,274	1,443	5.2	5.0

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成26年 5月12日	第1回気仙沼市特別支援教育推進委員会	気仙沼中央公民館
5月18日	支援学校：自閉症研修会	気仙沼支援学校
5月20日	相談支援ファイル	気仙沼教育委員会
5月22日	第1回気仙沼市特別支援教育コーディネーター会議	気仙沼市総合体育館
5月23日	宮城県障害児通園施設連絡協議会総会・施設長研修会	仙台市発達支援センター
6月13日	第1回気仙沼市障害児就学指導委員会	気仙沼市教育委員会
6月14日	スキルアップ研修会	松岩公民館
6月23日	松岩地区防災連絡協議会	松岩中学校
6月22日	就学説明会	気仙沼市マザーズホーム
7月 8日	第1回自閉症支援セミナー	宮城県子どもセンター
7月16日	第2回自閉症支援セミナー	〃
7月23日	気仙沼支援学校支援会議	気仙沼支援学校
7月24日	第3回自閉症セミナー	宮城県子どもセンター
8月22日	宮城県障害児通園施設連絡協議会職員研修会	仙台市福祉プラザ
7月11日	地域リハビリテーション受持者研修会	燦さん館
7月23日	気仙沼障害福祉フォーラム	福寿荘
7月16日	気仙沼地区特別支援教育コーディネーター連絡研修会	特別支援教育共同実習所
8月18日	第2回気仙沼市特別支援教育コーディネーター会議	本吉町公民館
8月21日	子ども安全対策研修会	気仙沼市役所
8月29日	平成26年度障害者社会福祉施設従事者研修会	宮城県
9月18日	第2回気仙沼市障害児就学指導委員会	気仙沼市教育委員会
9月19日	気仙沼市障害福祉フォーラム研修会	気仙沼プラザホテル
9月27日	スキルアップ研修会	松岩公民館
10月2日	運動遊び・身近な道具でスポーツ研修会	気仙沼小学校
10月3日	発達障害と思春期における支援の在り方研修会	本吉公民館
11月15日	障害児施設・支援学校職員の為のスキルアップ研修会	マザーズホーム
12月 1日	集団場面における発達障害障害児支援研修会	気仙沼保健福祉事務所
12月10日	自閉症支援セミナー	宮城県子どもセンター
12月16日	自閉症支援セミナー	宮城県子どもセンター
平成27年 1月22日	心に届く接遇&コミュニケーション研修会	気仙沼市保健センター
2月21日	言葉とコミュニケーション研修	気仙沼市老人福祉センター
3月14日	地域福祉セミナー	ワンテンビル

【成果】

幼児の在籍数は昨年並みであったが、今年度は、幼児の利用量が昨年度の77%に留まりました。これは、昨年度に比して、在籍児に低年齢児が多いこと、重複障がい児の長期入院や状態悪化のための欠席率が高かったことや並行保育利用児が多かったことなどが挙げられます。学童では、安定した利用があり、昨年度とほぼ同量（4%伸び）の利用がありました。収支の減収をランニングコストの削減に気を配ったことと正職員配置がないことなどから運営面での困難はなかった。

職員配置では、幼児部門にパート職員を配置したことで、療育内容を充実させることができました。事業では、関係者の支援会議を1名につき複数回実施するなど計画に沿って実施しました。新規の試みとして、入学児童の連携会議を開催しました。また、気仙沼地域の放課後等デイサービス事業者の連絡協議会設立に向けた準備委員会も開催しました。療育内容の充実化のため、音楽療法士と言語聴覚士に加えて、理学療法士の助力を得て、肢体不自由児や感覚統合未発達児への専門的な助言を得て支援に取り組みました。職員研修は、課長による内部研修やレベルアップ研修など全員が参加できる研修を取り入れました。

【課題】

収支に直結する利用量を確保すること。
学童の送迎をニーズに応じて行うこと。
職員の資質や連携力を高め、地域における信頼関係を維持向上させること。
学童支援の充実のため他事業所との連携を深めること。
職員の事務能力を高めること。

【今後の取組】

定員と在籍児そして、利用量の捉え方、さらに待機児童への対応などについて、気仙沼市や関係機関と連携・協力して、地域の実情に応じた経営に努めます。
学童の送迎サービスを見直し、遠距離送迎や保護者の仕事等個々のニーズに応じた送迎体制を整備してまいります。
市内の放課後等デイサービス事業所連絡協議会を結成し、情報交換等を行うと共に利用児の支援充実化に取り組みます。
利用家族の子育て機能の充実化と職員の資質アップのため、本会の障害福祉施設の見学や研修、交流会を開催します。

【決算】事業活動収入	25,801,266円	事業活動支出	19,367,775円
その他の活動収入	647,920円	その他の活動支出	5,716,000円
		当期資金収支差額	1,365,411円

気仙沼市 松峰園（指定特定相談支援事業）

【概要】障害者総合支援法に基づき、利用者が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、利用者の心身の状況、置かれている環境等に配慮し、適切な福祉サービスを総合的かつ効果的に提供されるよう指定計画相談支援を行いました。

【事業実績】

月	作成者数
4	1
5	
6	
7	39
8	
9	
10	
11	5
12	
1	
2	
3	10
計	55

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成26年		
8月30日～31日	相談支援従事者初任者研修会	宮城県庁
9月21日～23日	相談支援従事者初任者研修会	宮城県庁

【成果】昨年気仙沼市から依頼を受け松峰園利用者41人分のサービス等利用計画を作成しました。本年度利用計画作成から一年が経過したことからモニタリングを行い、再度現状に合った見直しの計画案を作成しました。計画相談事業者として多様な事業者と連絡調整をする中で、連携機能が高まりました。また、新たに職員を相談支援従事者研修会に出席させ、資格を取得させました。

【課題】社会資源が少なく、利用者の希望するサービスにつなげられない状況にあります。保護者の高齢化に伴いヘルパー利用等を勧めますが、家庭に入られるのを嫌がり拒否されることがあります。利用者及びその家族等の信頼を得て、より適切な働きかけを行うことで適切なサービス利用計画を作成していく必要があります。

【今後の取組】気仙沼市及び他事業所との連携を密にし、新しい社会資源を開拓しながらより適切な計画相談支援に活かしてまいります。また、地域からより信頼される事業者となり、地域の障害者福祉の推進に寄与するよう施設と一体となって事業を進めてまいります。

【決算】事業活動収入 646,980円 事業活動支出 550,119円
 当期資金収支差額 96,861円

居宅介護事業

【概要】障害者総合支援法に基づき、障害をもった方が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、関係機関との連携を密にし、きめ細やかなサービス提供に努めました。

気仙沼市ホームヘルプサービス事業所

【事業実績】

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
利用	人	4	4	6	6	6	6	5	5	7	7	6	7	69	59
	回	20	18	30	54	52	56	30	25	65	63	50	55	518	301

【成果】前年度と比較し、利用者数及び回数ともに増加しました。

従業者の意識啓発のために、権利擁護と虐待をテーマにした専門研修を受講しました。

(介護報酬目標額達成率 160% 前年度 91.9%)

【課題】本人の障害に加え加齢による認知症などの重複障害を持つ利用者や重篤な状態にある利用者へのより適切なケアプランとサービス提供が求められています。

【今後の取組】利用者の心身の状態に対し、きめ細かく対応するための処遇や介護技術のレベルアップに取り組めます。

【決算】事業活動収入計 1,930,126 円 事業活動支出計 2,312,284 円 当期資金収支差額-382,158 円
(前期末支払資金残高から充当)

訪問介護ステーションからくわ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年
利	人	3	3	3	3	3	4	5	5	6	5	7	50	30
用	回	8	10	8	8	9	10	10	14	18	19	16	147	94

【成果】居宅サービスに加え同行援護サービス提供も旧町内から市街地に広げ利用者確保に努めました。ケアプランに基づき、利用者本人に即した障害者福祉サービスを包括的に提供できました。利用者数及び回数増で自立に向けた支援が図られました。

(平成 26 年度 障害福祉サービス等事業収入目標額達成度 143% 前年度 108.9%)

【課題】介護職員の確保ができず、利用者の希望に応えられない場合があります。また、利用者本人の症状により度々訪問予定が中止になる等サービス提供につながらない場合があります。

【今後の取組】住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、他の関係機関との連携を密にし事故防止対策と緊急時に迅速な対応ができるよう体制作りに努めます。また、職員研修への参加によりサービスの質の向上に努めます。

【決算】事業活動収入 533,560 円 事業活動支出 331,962 円 当期資金収支差額 201,598 円

ヘルパーステーションもとよし

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年
利人	7	7	7	7	7	7	8	8	8	8	6	7	87	99
用回	291	292	292	291	274	272	297	295	300	273	253	268	3398	3532

【成果】利用者とのコミュニケーションを大事にしながら、障害を持った方の心身の特性と能力を踏まえた自立生活支援に努めました。独居の方の異変に気づき関連事業所との連携を図りながら、医療に繋げることができました。今後も少しでも寄り添えるように努めます。

(平成 26 年度 障害福祉サービス等事業収入目標額達成度 87% 前年度 106.4%)

【課題】重度身体介護で職員 2 名体制で一日 3 回訪問の利用者がいますが、職員の平均年齢の上昇に伴い、安定したサービス提供体制が確保できず、今後のヘルパー育成を含めた提供体制の再構築が課題となっています。独居世帯の増加に伴い地域連携も不可欠です。

【今後の取組】住み慣れた我が家で自分らしく暮らしていきたいという利用者と家族の願いの実現に向けた居宅介護サービス提供体制を確立し、一人ひとりのニーズに合わせた丁寧なサービス提供ができるように、引き続き介護技術等の向上を図っていきます。

【決算】事業活動収入 10,490,130 円 事業活動支出 10,291,000 円 当期資金収支差額 199,130 円

地域生活支援事業

【概要】障害者総合支援法に基づく気仙沼市障害者地域生活支援事業実施規則に則り、重度の障害を持つ方への移動入浴車による入浴サービスを提供しました。

訪問入浴サービスからくわ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年
人	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	12
回	8	7	8	6	1	7	9	8	8	8	8	9	87	89

【成果】職員全員による利用者支援会議等で、利用者のケア確認を徹底し、統一したケアをすることができました。(平成 26 年度 介護報酬目標達成度 108.1% 前年度 129%)

【課題】職員の更なる資質向上とともに、事故防止のための手法の研究が必要です。

【今後の取組】関係機関と連携を図り情報交換を行い、利用者のニーズに合った良質なサービスの提供に努めます。

【決算】事業活動収入 1,087,500 円 事業活動支出 863,454 円 当期資金収支差額 224,046 円

訪問入浴サービスもとよし

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年
利	人	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	16	12
用	回	5	4	4	4	4	4	5	4	9	8	8	66	50

【成果】12月から重度障害を持つ方への訪問を再開しました。より良いサービスを目指し、利用者との心の触れ合いを大切にするコミュニケーションを図りながら、利用者の心身両面の変化を注視し、家族負担の軽減と他職種連携に努めました。

(平成26年度 障害福祉サービス等事業収入目標額達成度 126.9% 前年度 100.0%)

【課題】重度障害を持つ方へのサービス提供に2時間近く要するなど、以前より障害が重度化しており、利用者ニーズに的確に応えていくことが求められています。

【今後の取組】利用者や家族とのコミュニケーションを大切にし、他職種との情報共有と連携を密にしながら、チームケアに前向きに取り組んでいきます。

【決算】事業活動収入 825,000 円 事業活動支出 825,000 円 当期資金収支差額 0 円

8. 在宅福祉事業

事業名	内 容
移送サービス事業	【概要】家庭外への移動困難者を、リフト付ワゴン車での移送を行うことで社会への参加拡大を図りました。 【実績】移送利用：0件 貸出利用：15件 (前年度 移送利用 0件 貸出利用 15件) 【成果】通院、転院、入退院等で利用が多く、半数は本吉地域の住民の方でした。また、定期的に利用される方もおり、生活行動範囲が拡大されました。 【課題】運転ボランティアの継続的な確保やサービスについて利用要件の見直しや研究の必要があります。 【今後の取組】当面は現行のとおり行います。 【決算】事業活動収入 116,522円 事業活動支出 116,522円 当期資金収支差額 0円
在宅ふれあい型交流事業	【概要】虚弱な一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯との交流を対象にふれあい型の食事サービス・お茶のみ会等へ補助金の交付を行いました。地域や季節によって、配食と会食の形態があります。 【実績】利用者延べ：1,279人(前年度993人) 【成果】ボランティア団体と地域の高齢者等、または参加者同士の交流の場と社会参加の場として一定の成果を上げています。被災後、転居された方にも声掛けをして交流を実施している地区もあり、住民同士の繋がりづくりにも役立ちました。 【課題】実施団体が増えない現状があるので、要因等を把握する必要があります。 【今後の取組】すべての地域において、高齢者等への交流支援事業が展開できるよう支援方法の検討を図りながら、広く事業の周知を図ります。 【決算】事業活動収入 866,800円 事業活動支出 897,961円 当期資金収支差額 -31,161円 前期末支払資金残高から充当
安否確認訪問サービス事業	【概要】大船渡ヤクルト販売㈱さんらいずセンターの協力を得て、常に見守りを必要とする世帯に対し、乳酸菌飲料の週3回(月・水・金)配達を通じての声掛け訪問による安否確認を実施しました。 【実績】利用者：32人 利用延本数：3,194本 (前年度 利用者 26人 利用延本数 3,153本) 【成果】緊急対応となるケースは有りませんでした。民生委員等へ制度の周知を改めて行うことで、利用者の増加につながりました。 【課題】配達範囲が業者の都合で不可となるエリアがあるため、市

	内全域への安定したサービス提供が難しい現状です。市内全域へのサービス提供が課題となっています。 【今後の取組】業者側とも話し合いの場を設け、配達エリアの確認や、別事業者の参入についても検討します。また、定期的に民生委員等へサービスの周知を行います。 【決算】事業活動収入 0 円 事業活動支出 102,995 円 その他の活動収入 102,995 円 当期資金収支差額 0 円
介護機器・福祉用具貸出事業	【概要】所有する福祉用具の貸出により、要介護にある方の在宅生活を支援し、ボランティア活動や福祉教育活動への企画や参加を促進しました。 【実績】 延べ貸出数 気仙沼車いす 21 台 ベッド 0 台 (前年度 車いす 29 台 ベッド 5 台) 【成果】学校への貸出により福祉教育活動に使用されたほか、個人への貸出により在宅生活の一助となりました。また、ボランティアグループや地域組織への貸出により行事やイベントに対し、要介護者が参加することができました。 【課題】貸出用具として介護用電動・手動ベッド、ベッドマッドレスがありますが、本吉支所以外は東日本大震災で物品の一切を流失しており、車椅子のみが貸し出せる状況にあります。貸出用具の見直しが必要です。 【今後の取組】当面は現行通り事業を行います。 【決算】事業活動収入 49,704 円 事業活動支出 21,757 円 その他の活動収入 115,160 円 その他の活動支出 139,737 円 当期資金収支差額 3,370 円

○ 老人福祉センターの指定管理

気仙沼市老人福祉センター「福寿荘」

【概要】気仙沼市老人福祉センター条例及び指定管理に係る基本協定書に基づき、各種相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上、老人クラブの活動及びレクレーションのための便宜を総合的に供与できる体制の充実に努めました。

【事業実績】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
館内	開館日数	21	21	22	20	23	21	22	21	19	19	21	22	252
	*集い・教室・講座回数	26	26	27	26	27	25	32	22	27	26	27	28	319
	人数	582	649	698	611	568	617	636	422	662	516	647	673	7,281
	福寿荘行事回数							1	5	4	4	4	5	23
	人数							103	272	92	98	111	176	852
	奉仕活動回数				1									1
	人数				32									32
	施設実習・見学回数							2	5					7
	人数							26	19					45
	その他回数			1	1		4							6
	人数			11	8		55							74
館内	計回数	26	26	28	28	27	29	35	32	31	30	31	33	356
	人数	582	649	709	651	568	672	765	713	754	614	758	849	8,284
館外	*移動福寿荘回数							1						1
	人数							44						44
	市老連関係回数	3	2	2	1		1				2	1		12
	人数	69	89	30	21		58				37	27		331
	関係団体回数		1	1	3	1	3	2	1	2	8	5	2	29
	人数		133	17	82	9	30	39	42	129	133	104	7	725
	計回数	3	3	3	4	1	4	3	1	2	10	6	2	42
	人数	69	222	47	103	9	88	83	42	129	170	131	7	1,100
合計回数		29	29	31	32	28	33	38	33	33	40	37	35	398
人数		651	871	756	754	577	760	848	755	883	784	889	856	9,384
生きがいデイサービス（＊再掲）回数		26	26	27	26	27	25	33	22	27	26	27	28	320
人数		582	649	698	611	568	617	680	422	662	516	647	673	7,325
前年度	回数	35	34	32	29	28	33	32	31	27	24	28	27	360
	人数	931	886	725	772	501	772	983	823	578	495	548	596	8,610

【成果】趣味の集い活動及び独自講座並びに介護予防事業を継続して開催し、生きがいのある学習活動を推進しました。また、東日本大震災後休止していた大島移動福寿荘を再開しました。

【課題】唐桑地区で年に2ヶ月程開催した介護予防事業について、唐桑公民館の事業と重複されているので、今後は検討が必要です。

【今後の取組】大島地区で介護予防事業の開催に向け、大島地区民の意見を反映した事業計画を立ててまいります。

【決算】事業活動収入 19,327,720円

事業活動支出 18,507,799円
 その他の活動支出 550,680円
 当期資金収支差額 269,241円

気仙沼市本吉老人福祉センター

【概要】気仙沼市本吉老人福祉センター条例及び指定管理基本協定に基づき、生きがい活動支援通所事業実施のほか、センターの貸部屋や老人クラブ活動支援を行い、高齢者の活動拠点としての充実を図りました。

【事業実績】

区 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	21日	20日	21日	22日	21日	20日	22日	19日	19日	19日	19日	22日	245日
集 会 室	各種団体数	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3
	延べ人数	0	0	0	0	0	39	0	0	0	0	0	39
	老人クラブ数	13	13	11	13	12	9	12	11	11	12	12	140
	延べ人数	186	142	130	168	144	130	134	141	142	157	144	1,728
会 議 室	各種団体数	2	3	3	4	2	4	2	5	1	1	5	39
	延べ人数	15	50	34	46	13	32	9	30	4	5	18	302
面 接 室	各種団体数	1	1	0	2	1	1	1	1	1	1	1	12
	延べ人数	4	4	0	8	4	4	4	4	3	5	4	49
図 書 室	各種団体数	10	8	8	8	7	8	7	6	7	7	8	92
	延べ人数	41	30	31	35	29	34	30	30	27	29	30	376
娛 楽 室	各種団体数	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	6
	延べ人数	8	3	3	0	0	0	0	0	3	0	3	23
ア イ ル ム	各種団体数	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	3
	延べ人数	0	0	7	0	0	0	0	0	0	10	0	17
ヘルストロン		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浴 室		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		254	229	205	257	190	200	192	198	178	181	222	2,534
前年度		282	227	196	233	192	223	160	236	250	187	199	2,588

※生きがい活動支援通所事業の本吉老人福祉センター利用実績のみ掲載(生きがい活動支援通所事業の実績は別途作成)

【成果】サービス利用や貸館等で来所する住民に対して福祉情報の発信に努めるとともに、社協の各種事業を通してセンターの存在を周知できました。

【課題】施設の老朽化対策が課題。

【今後の取組】利用者や来所者にとって居心地の良い環境となるよう、施設の維持管理の徹底と併せて従事職員の質の向上に努めます。

【決算】 事業活動収入	642,000円	事業活動支出	511,243円
		施設整備等支出	0円
		その他の活動支出	0円
		当期資金収支差額	130,757円

○ 指定介護保険事業

一景島在宅介護支援センター

【概要】要介護から要支援へ、また、その逆となる利用者へは、適切なケアプランの策定に努めるとともに、法改正による各種サービスの変更点についても、利用者への丁寧な説明による理解と納得を得るよう心掛けました。

【事業実績】

月	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	9	18	27	23	8	18	15	7	98
5	人	9	20	29	23	7	16	15	7	97
6	人	9	21	30	23	9	15	16	6	99
7	人	8	21	29	27	8	15	16	7	102
8	人	9	19	28	27	7	13	18	7	100
9	人	10	18	28	26	9	15	16	7	101
10	人	8	17	25	26	10	14	15	6	96
11	人	9	18	27	25	10	13	15	6	96
12	人	10	20	30	24	10	13	13	6	96
1	人	9	20	29	24	10	13	12	7	95
2	人	8	18	26	24	10	14	12	6	92
3	人	5	19	24	27	9	15	11	6	92
計	人	103	229	332	299	107	174	174	78	1,164
前年度	人	106	198	304	229	179	211	160	108	1,191

【研修・会議等参加状況】

月 日	主 な 会 議 ・ 研 修 会 等	開 催 場 所
平成26年6月27日	気仙沼圏域包括ケアシステム研修会	県気仙沼保健福祉事務所
7月25日	H26年度第1回事業管理者会議	気仙沼市社協本所
7月30日	平成26年度集団指導	県気仙沼保健福祉事務所
9月12. 15. 18日	介護支援専門員更新研修	宮城県庁
9月17日	ケアマネジャーのための介護保険制度基礎研修	県気仙沼保健福祉事務所
10月16日	ケアマネジャーのための介護保険制度基礎研修	県気仙沼保健福祉事務所
11月11日	難病患者支援者研修会	県気仙沼保健福祉事務所
12月1日	介護保険事業者懇談会	すこやか
12月6日	在宅療養推進フォーラム	地域医療委員会
12月10日	介護支援専門員情報交換会	すこやか
12月15日	高次能機能障害者支援事業圏域研修会	県気仙沼保健福祉事務所
平成27年3月17日	平成27年度制度改正等に係る集団指導	県気仙沼保健福祉事務所
3月17日	入院時情報提供の手引き説明会	県気仙沼保健福祉事務所
3月26日	市立病院地域連携の取組についての報告会	パルポーエトワール

【成果】困難ケースを抱える利用者、認知症利用者及びその家族には、地域包括支援センターや関係機関と密に連携し、適切なサービス提供の心掛けにより、在宅生活の維持に繋がりました。
(平成26年度 介護報酬目標達成度94.3% 前年度97.6%)

【課題】困難事例を抱える利用者への対応のため、新規利用希望に対応できない状況にあります。各種サービス提供事業所の人員不足により、必要なサービスの確保ができず、よりよいケアプラン策定が難しい状況が続いています。

【今後の取組】介護支援専門員の確保により新規利用者の受入れを図ります。また、複雑化する各種のサービス基準等に対処するため、職員が具体的な目標を定めて自己研さんに努めることはもとより、事業所全体の底上げを図ります。

【決算】事業活動収入 15,840,650円 事業活動支出 10,554,482円
 その他の活動支出 6,902,560円
 当期資金収支差額 -1,616,392円
 (前期末支払資金残高から充当)

燦さん館ケアプランセンター

【概要】地域の医療、福祉、保健関係者そして、サービス提供事業所と地域一体となって利用者のサービス向上に繋がるように努めました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	10	23	33	15	38	17	22	11	103	136
5	人	12	24	36	18	38	19	22	11	108	144
6	人	10	25	35	24	37	19	21	11	112	147
7	人	11	24	35	22	35	23	23	9	112	147
8	人	13	26	39	21	35	25	22	9	112	151
9	人	13	26	39	23	37	22	23	10	115	154
10	人	15	27	42	22	37	20	27	9	115	157
11	人	15	26	41	21	40	21	25	8	115	156
12	人	17	25	42	18	40	20	22	10	110	152
1	人	17	25	42	18	40	20	22	9	109	151
2	人	14	28	42	20	39	21	20	9	109	151
3	人	12	28	40	25	37	21	21	10	114	154
計	人	159	307	466	247	453	248	270	116	1334	1800
前年度	人	106	200	306	190	379	286	227	133	1215	1521

【研修・会議等参加状況】

	主な会議・研修会等	開催場所
平成26年6月25日	介護サービスの質の向上に関する研修会	イズミティ21
7月30日	平成26年度集団指導	保健福祉事務所
8月18日	第1回ケアマネジャーのための介護保険制度基礎研修	保健福祉事務所
9月4日	第1回唐桑地区他職種連絡会	保健福祉事務所
9月12日～9月18日	介護支援専門員更新研修Ⅱ	県庁他
9月17日	第2回ケアマネジャーのための介護保険制度基礎研修	保健福祉事務所
10月5日～11月28日	平成26年度主任介護支援専門員研修	県庁他
12月15日	高次機能障害者支援事業圏域研修会	保健福祉事務所
平成27年3月17日	介護保険制度改正・介護報酬改定に係る集団指導	保健福祉事務所
3月17日	入院時情報提供の手引き説明会	保健福祉事務所
3月26日	気仙沼市立病院地域連携室の取り組みについての報告会	パルポーエトワアル

【成果】各種専門研修に参加し、職員の資質向上に努めました。唐桑地域の行政機関、医療機関、福祉機関と勉強会や交流する機会を作ること、連携体制を確立することができました。
(平成26年度 介護報酬目標達成度105% 前年度114%)

【課題】一人暮らしや老夫婦世帯で身内も近くに住んでいない利用者が増加しています。地域一体となった取り組みが早急に求められています。

【今後の取組】地域の介護サービスが飽和状態であることから、限られたサービスの中で適切なケアマネジメントを実施してまいります。また、新たな介護サービスも開拓してまいります。

【決算】事業活動収入22,027,760円
事業活動支出 19,307,269円
その他の活動支出 1,216,596円
当期資金収支差額 1,503,895円

津谷居宅介護支援事業所

【概要】利用者の立場に立ち、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、生活全体を支えるケアマネジメントの視点を常に意識し、関係機関と連携しながらサービス提供に努めました。

【事業実績】

月	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4 人	30	20	50	45	48	33	29	15	170	220
5 人	30	17	47	48	49	34	29	17	177	224
6 人	28	19	47	43	49	34	26	16	168	215
7 人	28	19	47	43	50	30	26	21	170	217
8 人	26	23	49	43	48	31	26	20	168	217
9 人	27	23	50	48	48	32	23	21	172	222
10 人	27	24	51	50	51	29	20	19	169	220
11 人	28	25	53	48	53	26	21	16	164	217
12 人	31	24	55	48	53	29	21	16	167	222
1 人	27	24	51	49	53	29	22	14	167	218
2 人	27	25	52	52	51	32	23	14	172	224
3 人	29	23	52	53	49	29	24	14	169	221
計 人	338	266	604	570	602	368	290	203	2,033	2,637
前年度 人	262	407	669	625	570	326	317	227	2,065	2,734

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成26年6月14日	二次予防事業受託事業所等研修会	すこやか
6月27日	気仙沼圏域地域包括ケアシステム研修会	気仙沼保健福祉事務所
7月30日	集団指導	気仙沼保健福祉事務所
8月8日	福祉のまち創造会議「地域包括ケアを考える」	三峰病院
8/18、9/17、10/16	ケアマネの為の介護保険制度基礎知識	気仙沼保健福祉事務所
9月19、20、22日	介護支援専門員専門研修Ⅱ（更新研修Ⅱ）	宮城県庁
9月20日	地域包括ケアシステム研修会	小泉デイサービスセンター
10月10日	地域包括ケアシステム構築研修会	宮城県庁
10～11月（11日間）	主任介護支援専門員研修	宮城県庁、宮城自治労会館等
11月9日	介護支援専門員専門研修会（認知症のアセスメント）	気仙沼市役所
11月17日	居宅サービス部会	社協本所
11/20・21	ソウエルクラブ接遇講習会	仙台市トラストタワー
12月5日	認知症キャラバンメイト研修会	すこやか
12月13日	地域包括ケアのまちづくり講習会	気仙沼市役所
平成27年1月9日	介護保険法に基づく実地指導	津谷居宅支援事業所
2月14日	スキルアップ研修会	すこやか
3月13日	本吉地域ケアマネジメント情報交換会	本吉町公民館
3月18日	がん患者のケア等に関する研修会	気仙沼保健福祉事務所
3月20日	集団指導	気仙沼保健福祉事務所

【成果】前年度に引き続き利用者との信頼関係を構築しながら、一人ひとりに丁寧に寄り添うサービス提供に努めました。

実地指導での指摘により、不適正な事務処理により499,510円の介護報酬の減算となり皆様に多大なご迷惑をお掛けしました。

（平成26年度 介護報酬目標達成度 95.6% 前年度 103.6%）

【課題】職員の異動もあり、研修や実地指導での指摘事項を踏まえ介護サービスの質の向上と職員の資質向上が課題となっています。

【今後の取組】面接技術の向上を図り、研修や実地指導での指摘事項等を再確認しながら介護支援専門員としての質の向上に努めていきます。

【決算】事業活動収入	36,516,250円	事業活動支出	30,545,105円
		施設整備等支出	248,400円
		その他の活動支出	3,026,592円
		当期資金収支差額	2,696,153円

気仙沼市ホームヘルプサービス事業所

【概要】利用者の方がその人らしい、安定した日常生活を維持できるように配慮した、質の高い、きめ細やかなサービスの提供に努めました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	10	13	23	8	3	8	3	4	26	49
	回	66	72	138	116	111	155	54	85	521	659
5	人	9	12	21	8	2	7	2	4	23	44
	回	55	73	128	105	45	75	33	132	390	518
6	人	9	12	21	10	2	6	3	3	24	45
	回	55	69	124	186	44	132	37	79	478	602
7	人	8	13	21	13	2	7	6	5	33	54
	回	54	57	111	214	45	172	58	76	565	676
8	人	9	10	19	13	2	8	6	4	33	52
	回	61	53	114	184	38	211	110	75	618	732
9	人	9	11	20	12	3	7	4	4	30	50
	回	60	56	116	175	41	116	59	67	458	574
10	人	10	11	21	14	3	6	2	4	29	50
	回	62	61	123	204	51	169	29	75	528	651
11	人	10	10	20	12	3	8	2	4	29	49
	回	51	54	105	140	21	198	28	82	469	574
12	人	9	11	20	10	5	8	2	4	29	49
	回	52	59	111	130	50	190	29	106	505	616
1	人	10	11	21	11	4	7	3	5	30	51
	回	56	64	120	129	42	97	45	86	399	519
2	人	7	10	17	12	6	7	4	4	33	50
	回	38	45	83	136	63	80	39	73	391	474
3	人	6	9	15	13	6	8	4	3	34	49
	回	39	47	86	151	86	82	44	82	445	531
計	人	106	133	239	136	41	87	41	48	353	592
	回	649	710	1,359	1,870	637	1,677	565	1,018	5,767	7,126
前年度	人	113	157	270	63	67	52	59	69	310	580
	回	605	928	1,533	1,157	1,742	585	641	1,617	5,742	7,275

【研修・会議等参加状況】

月 日	主 な 会 議 ・ 研 修 会 等	開 催 場 所
平成26年7月22日	指定介護サービス事業者集団指導	気仙沼保健福祉事務所
7月25日	H26年度第1回事業管理者会議	気仙沼市社協本所
8月27日	在宅酸素の取り扱い（実践）と呼吸リハビリ	気仙沼市立病院
11月17日	介法協訪問系研修会「介護サービスと利用者の権利擁護」	気仙沼市社協本所
12月 1日	介護保険事業者懇談会	すこやか
12月 6日	在宅療養推進フォーラム	地域医療委員会
平成27年2月20日	結核対策研修会	県気仙沼保健福祉事務所
2月14日	高齢者福祉系職員対象のスキルアップ研修	すこやか
3月16日	平成27年度制度改正等に係る集団指導	県気仙沼保健福祉事務所

【成果】利用希望と職員派遣体制の調整が難しい状況で、密なるスケジュールが常態化しましたが、適切なサービス提供と事故を防止できました。

（平成26年度 介護報酬目標達成度87% 前年度91.1%）

【課題】新たな人材確保や職員の高齢化等によるサービス提供体制の弱体化への不安があります。

【今後の取組】サービス提供体制の強化や職員の研修受講による資質の向上を図ります。

【決算】事業活動収入	26,025,499円	事業活動支出	26,168,699円
その他の活動収入	1,500,000円	その他の活動支出	248,160円
		当期資金収支差額	1,108,640円

訪問介護ステーションからくわ

【概要】利用者一人ひとりの状況を踏まえ、住み慣れた環境でその人らしくより安心して生活を送れるようサービス提供に努めました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	4	7	11	2	2	1	10	6	21	32
	回	24	42	66	17	9	28	308	143	505	571
5	人	4	7	11	2	3	2	9	6	22	33
	回	21	39	60	16	29	48	304	133	530	590
6	人	4	8	12	1	3	2	9	5	20	32
	回	14	45	59	13	24	32	298	91	458	517
7	人	4	8	12	1	4	2	9	5	21	33
	回	25	46	71	10	32	35	294	92	463	534
8	人	3	8	11	0	5	3	9	5	22	33
	回	13	46	59	0	66	52	296	84	498	557
9	人	4	9	13	1	3	2	8	5	19	32
	回	19	53	72	29	34	40	264	135	502	574
10	人	6	9	15	1	2	1	11	5	20	35
	回	26	53	79	31	36	24	313	109	513	592
11	人	4	9	13	1	2	1	11	4	19	32
	回	24	57	81	30	32	10	340	63	475	556
12	人	5	9	14	1	2	2	11	5	21	35
	回	28	60	88	30	6	38	316	111	501	589
1	人	5	9	14	1	1	2	10	4	18	32
	回	26	56	82	31	1	29	230	92	383	465
2	人	5	9	14	1	0	2	9	4	16	30
	回	32	54	86	28	0	47	190	76	341	427
3	人	6	9	15	1	1	3	10	4	19	34
	回	33	60	93	45	1	46	246	89	427	520
計	人	54	101	155	13	28	23	116	58	238	393
	回	285	611	896	280	270	429	3,399	1,218	5,596	6,492
前年度	人	50	43	93	43	24	14	123	80	284	377
	回	275	190	465	423	134	241	3,709	1,931	6,438	6,903

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成26年4月5日	訪問介護サービス提供責任者（初級）研修会	仙台市・福祉アカデミー
5月20日	クレーム対応研修	仙台市・J Aビル
6月27日	気仙沼圏域地域包括ケアシステム研修会	気仙沼保健福祉事務所
6月30日	介護サービスの質の向上に関する研修会	仙台市・イズミティ21
7月17日	感染管理セミナー	気仙沼プラザホテル
7月18日	スキルアップ研修	すこやか
7月22日	介護サービス事業所集団指導	気仙沼保健福祉事務所
9月9日	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	仙台市・アエル
11月11日	難病患者支援者研修会	気仙沼保健福祉事務所
11月17日	訪問系研修会	気仙沼社協・本所
平成27年2月24日	認知症ケア向上研修会	気仙沼保健福祉事務所
3月3日	難病患者等ホームヘルパー養成研修会	仙台市・自治会館
3月16日	介護保険制度改正・介護報酬改定に係る集団指導	気仙沼保健福祉事務所
平成26.4～27.3	スタッフ会議（月1回）事業所内会議（随時）	社協唐桑支所

【成果】旧町内よりサービス提供の幅を市街地に広げ、利用者確保に努めました。

定期的なスタッフ会議の開催で統一したケアの確認や必要性を再認識し、事故防止に繋がりました。各種研修に参加し質の向上に努め、事業所内での情報共有や自己のスキルアップができました。

（平成26年度介護報酬目標額達成度 92.8% 前年度 101.8%）

【課題】訪問介護員の確保がきず、利用者の希望時間に応えられない場合があります。

【今後の取組】他職種や地域と連携を図り、利用者との信頼関係を大切に良質できめ細やかなサービス提供に努めます。また、積極的に研修等に参加し、自己研さんに努めます。

【決算】事業活動収入19,561,348円

事業活動支出 18,705,769円

その他の活動支出 320,000円

当期資金収支差額 535,579円